

個人投資家向け会社説明会

1 信和について

1

会社概要

足場を中心とした
金属加工の製造メーカーです



| | |
|-------|---------------------|
| 商号 | 信和株式会社 |
| 代表者 | 山田 博 |
| 本社所在地 | 岐阜県海津市平田町仏師川字村中30-7 |
| 創業 | 1977年9月 |
| 設立 | 2014年8月 |
| 資本金 | 150百万円 |
| 連結売上高 | 175億円（2018年度） |
| 市場 | 東証一部、名証一部 |
| 証券コード | 3447 |

2



創業 42年

岐阜県羽島市に設立し、2004年に岐阜県海津市に移転しました。

従業員 155名 (2019年3月31日現在)

6名でスタートした会社でしたが、今では25倍に仲間が増えました！



拠点 (国内)

営業拠点・工場を国内に12拠点展開

2018年 8月 熊本機材センター開設

2018年 11月 横浜、関西に機材センター開設

2019年 2月 名古屋オフィス開設



横浜機材センター



関西機材センター



名古屋オフィス



拠点（海外）

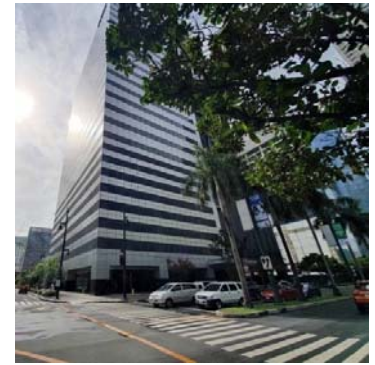
2017年に2拠点を展開

フィリピン駐在事務所（マニラ）

ベトナム協力工場（ホーチミン）



ベトナム協力工場



フィリピン駐在事務所

2019年

中国に合併会社を設立予定

沿革

1977年

創業



2003年

特機物流部門に進出



1988年

「キャッチャー」の
製造・販売を開始



2016年

次世代足場「SPS」の
製造・販売を開始

2019年

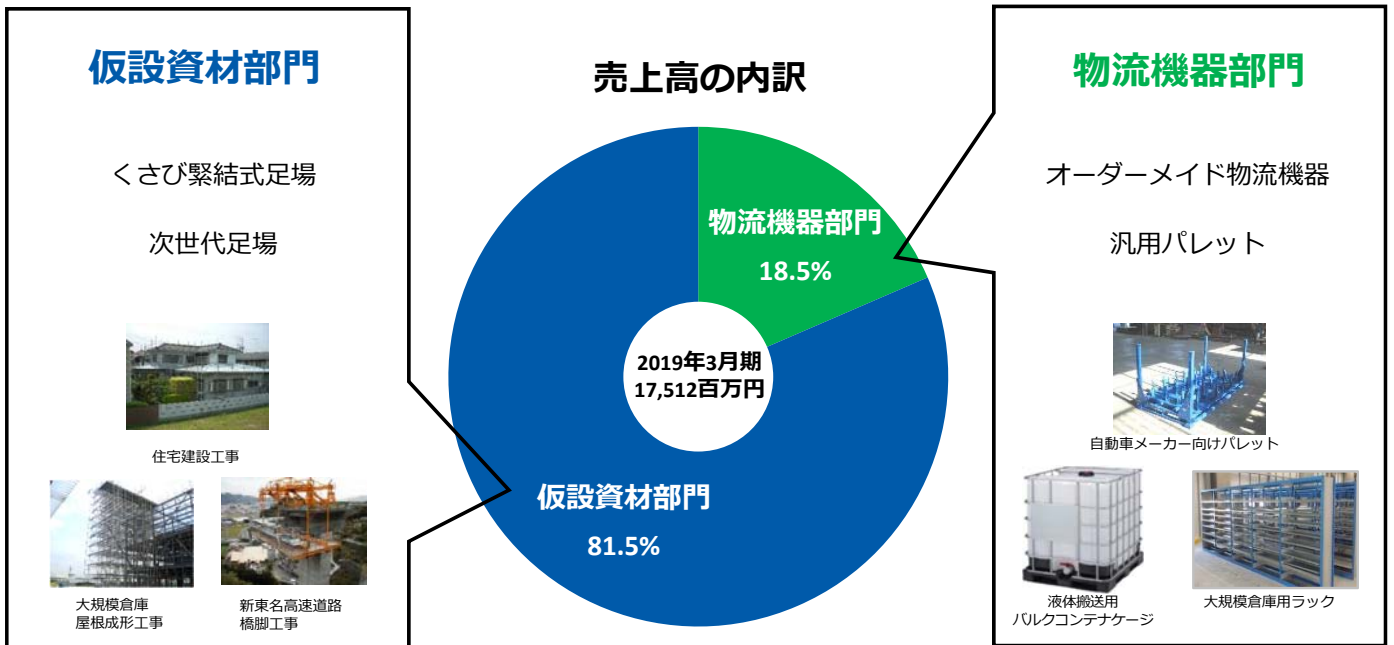
東証・名証一部に上場



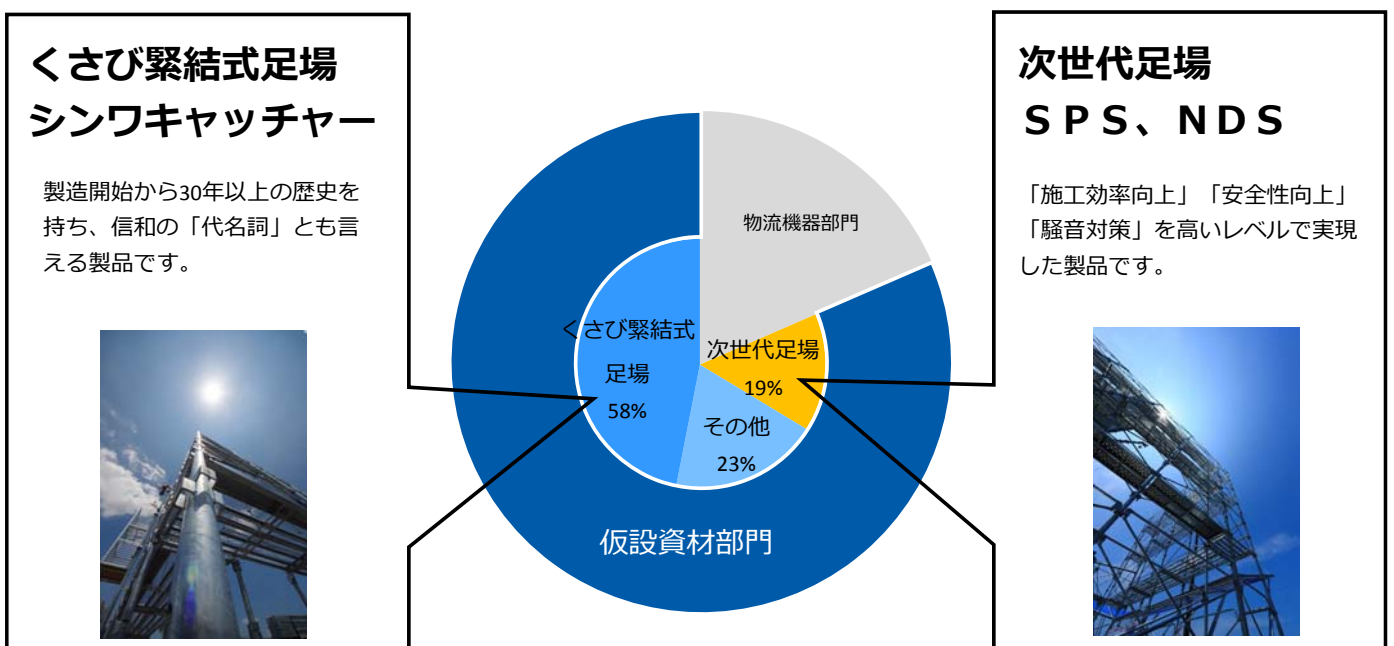
2019年9月末株主数 12,753名

約5割が個人の株主様となっております、多くの個人株主様にご支援いただいております。

2 事業について



仮設資材部門



| 当社の主力商品 | | | | 枠組足場 |
|---------|------------------------|----------------|---------------------|-----------|
| システム足場 | | 次世代足場 | | |
| 当社製品 | くさび緊結式足場 シンワキャッチャー | SPS | NDS | |
| 用途 | 低層～中層向け (45mまで施工可能) | 中層～高層向け | | 高層・大型向け |
| 工期 | 短 | 短 | | 長 |
| 騒音 | 有 | 少 | | 少 |
| 保管・運搬効率 | 高 | 高 | | 中 |
| 施工効率 | 高 | 高 | | 低 |
| 当社製品 | 低層 (戸建住宅等) | 中層 (マンション等) | 高層 (大型マンション、ビル等) | 大型施設、公共工事 |

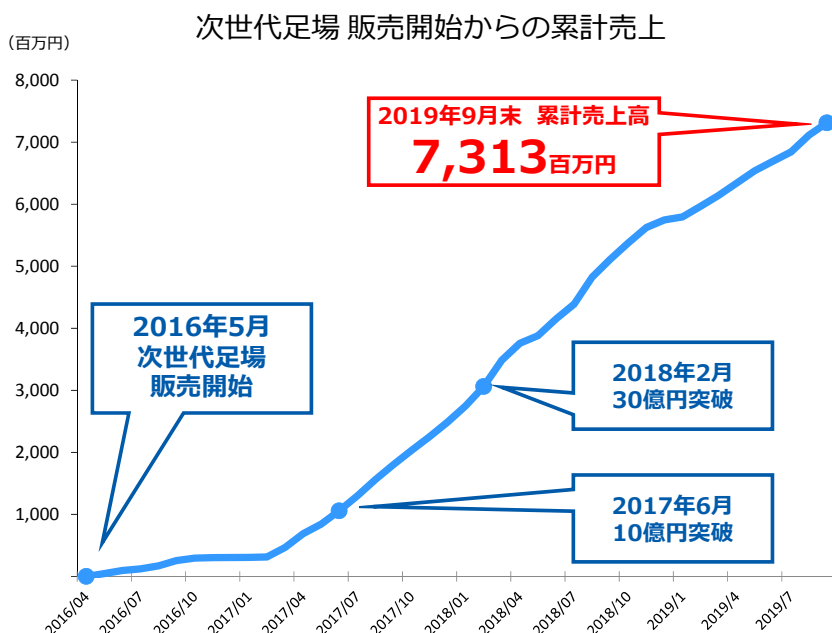
シンワキャッチャー (くさび緊結式足場)
SPS (サイレントパワーシステム)
NDS (ダーウィン)
注) 大手リース会社向けに製造・販売

ユーザー：システム足場の施工業者、くさびレンタル企業

ユーザー：システム足場の施工業者、枠組み足場のとび職

ユーザー：枠組み足場のとび職、在庫を持たないとび職

次世代足場



累計売上高 70億円突破

建設現場における

- 施工効率向上
- 安全性向上
- 騒音対策 など

様々なニーズ拡大に応え、発売から約3年半で累計売上高70億円を突破しました！

施工例

住宅や橋脚の建設はもちろんのこと...




施工例

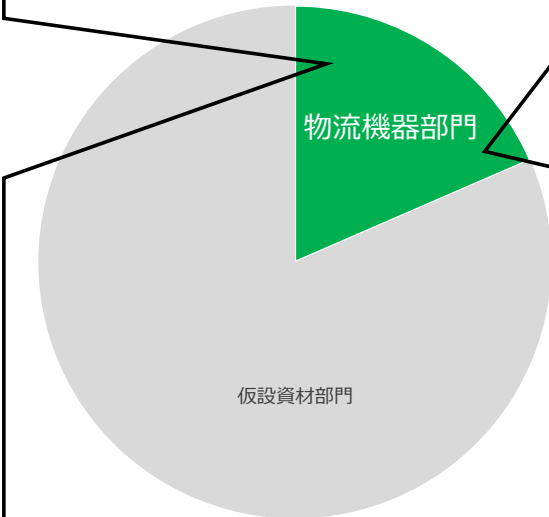
大規模施設の建設にも使われています！



オーダーメイド 物流機器

自動車、電器、精密、化学、農業、倉庫の分野など、多岐にわたる分野で使用されています。






物流機器部門

仮設資材部門

汎用パレット

吊りパレットや、足場資材専用パレットなどがあります。



信和の第2の柱へ！

金属加工の技術を生かして様々な分野に展開しています。

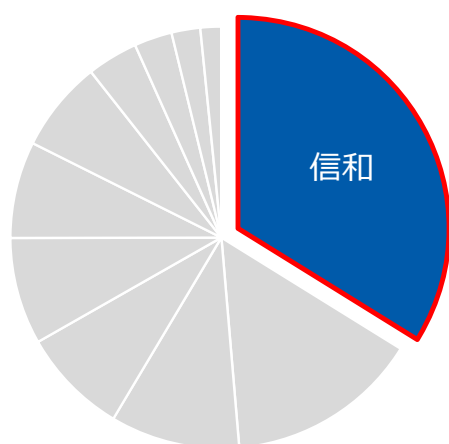
- 大型物流倉庫用ラック
 - 植物工場用多段棚
 - 液体搬送用バルクコンテナケージ
- など



3 信和の強み

17

市場シェアについて



トップシェア！

出荷金額ベースでトップシェア。
お客様からの確かな信頼の証です。

くさび緊結式足場
販売シェア
No.1

(注) 2019年9月26日付の自社調査によるものです。

18

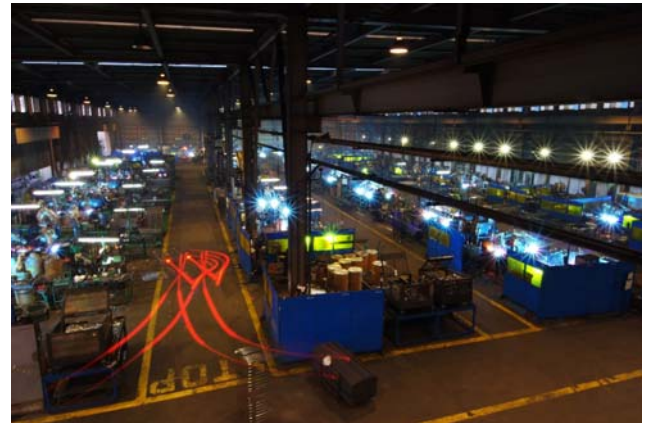
製造拠点（土倉工場）

敷地面積 40,462平米

東京ドームとほぼ同じ広さ

年間製造量 約47,300トン

業界随一の生産力と多品種生産を両立



溶接ロボット 136台

スピーディーな納品と高い品質水準を保つため、最新の技術と設備で製造しています！

2019年度の業績

売上高
175億

営業利益率
11.2%

9期
連続増収
(2019年3月期)

ROE
10.7%
(2019年3月期)

4

2020年3月期 第2四半期の状況

21

決算ハイライト

| | |
|---------------------------|--|
| 売上収益 | 9,370百万円(前年同期比+ 8.7%) 第1四半期に引き続き仮設資材部門の増収が続き、前年同期比増収 |
| 売上総利益 | 2,307百万円(前年同期比+17.9%) 原材料価格の低減活動が功を奏し、想定内に抑制 |
| 営業利益 | 1,222百万円(前年同期比+21.7%) 発送配達費の高騰や、外形標準課税の増加に伴う租税公課の増加を、売上総利益が吸収し、前年同期比増益 |
| 親会社の所有者に 帰属する 四半期利益 | 814百万円 (前年同期比+29.9%) 前年同期比増益 |

22

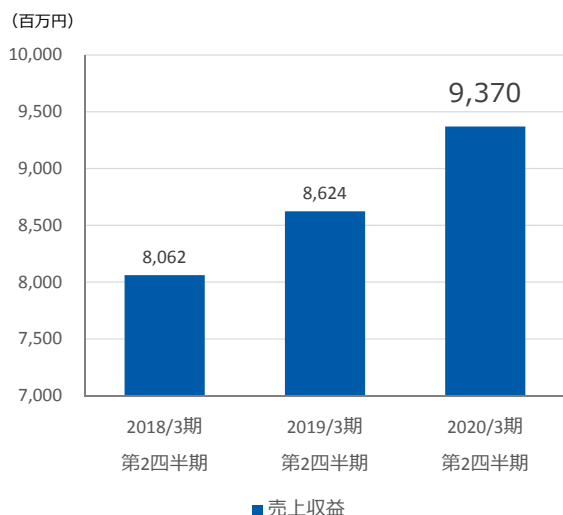
| (IFRS基準) (単位:百万円) | 2019/03期 第2四半期 | 2020/03期 第2四半期 | 増減 | 増減率 |
|----------------------|-------------------|-------------------|------|--------|
| 売上収益 | 8,624 | 9,370 | +746 | +8.7% |
| 売上原価 | 6,666 | 7,063 | +396 | +6.0% |
| 売上総利益 | 1,957 | 2,307 | +349 | +17.9% |
| 販管費及び 一般管理費など | 958 | 1,084 | +126 | +13.2% |
| 営業利益 | 1,004 | 1,222 | +218 | +21.7% |
| 税引前利益 | 974 | 1,186 | +212 | +21.8% |
| 四半期利益 | 627 | 814 | +187 | +29.9% |

23

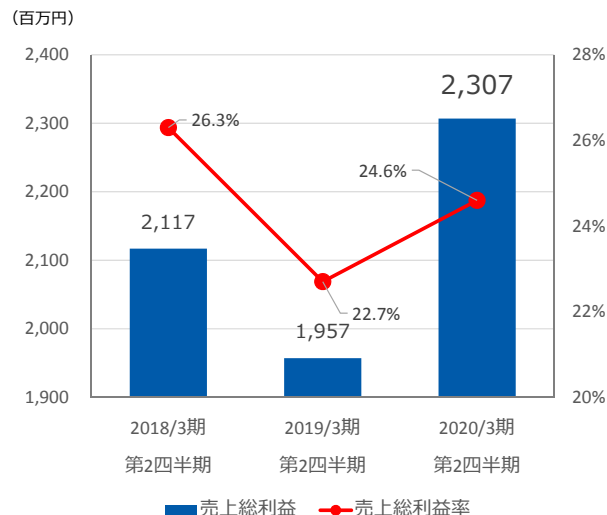
売上高・売上総利益の状況

売上収益は、仮設資材部門が業績を牽引し過去最高を更新
売上総利益は、継続的な販売価格の見直しや、幅広い原材料の調達ルートを活用で回復

売上収益



売上総利益・売上総利益率



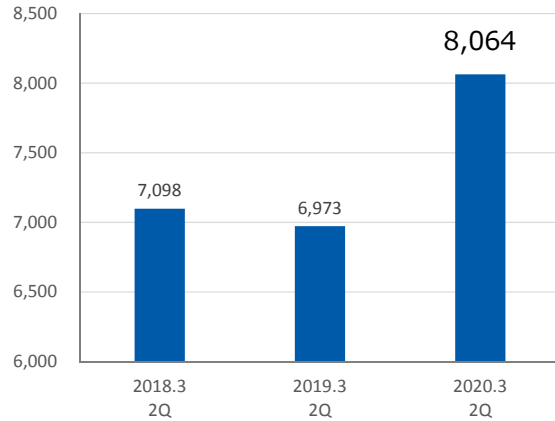
24

部門別の状況 仮設資材部門

仮設資材部門における売上収益の前年同期比は **+15.6%**増収

仮設資材部門の売上収益

(百万円)



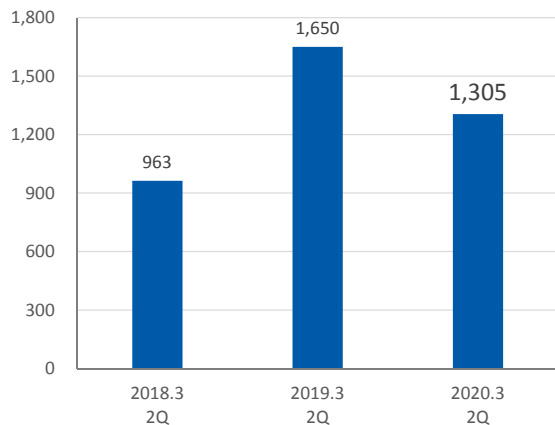
- オリンピック工事収束、工事案件が地方にシフト
- 災害復興活動の継続
- くさび緊結式足場を中心に需要が堅調に推移
- 地方での次世代足場拡販に向けた営業活動を継続

部門別の状況 物流機器部門

物流機器部門は、物流倉庫向け大型案件の完成工事時期のズレにより減収

物流機器部門の売上収益

(百万円)

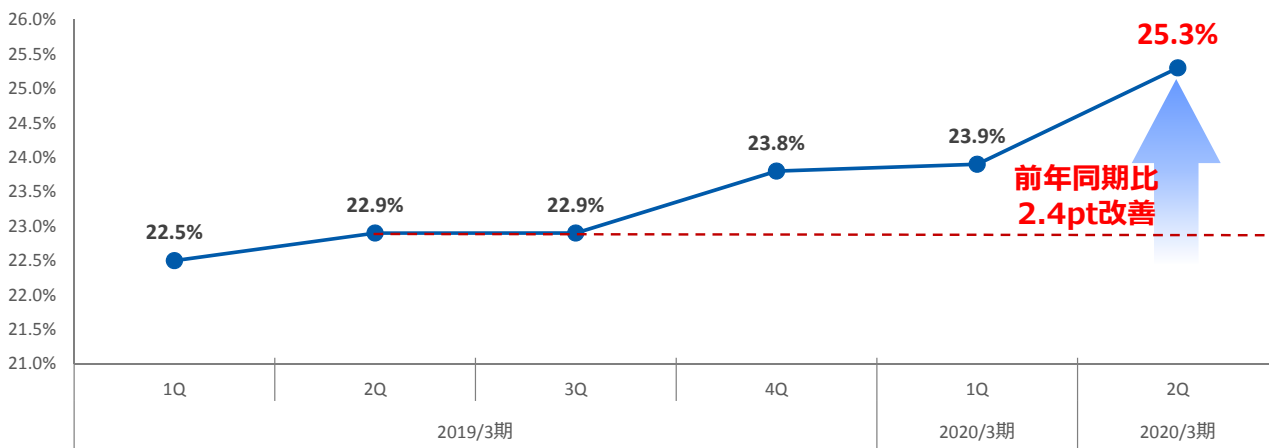


- 見通しどおり、大型物流倉庫向け案件が減少し売上収益を押し下げた
- その他の受注案件は堅調に獲得続く

売上総利益率の推移

原価低減活動や合理化努力により2020年3月期は**25.3%**となり、着実に改善。

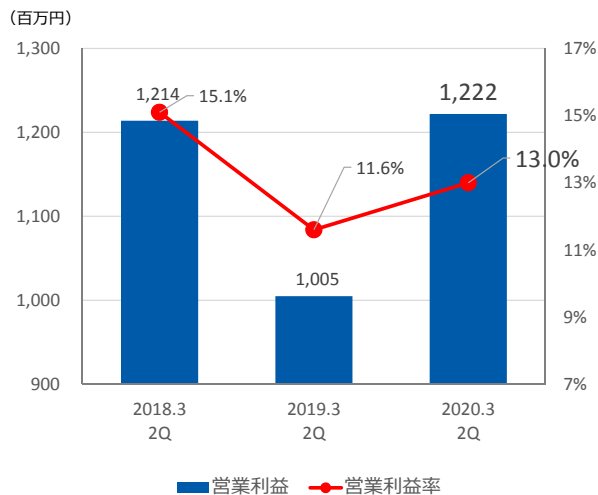
四半期ごとの売上総利益率の推移



営業利益の推移

営業利益は前年同期比**+21.7%**増益、営業利益率は+1.4pt改善の**13.0%**

営業利益・営業利益率



<プラス要因>

仮設資材部門の売り上げ増加や
売上原価の抑制により売上総利益が増加

<マイナス要因>

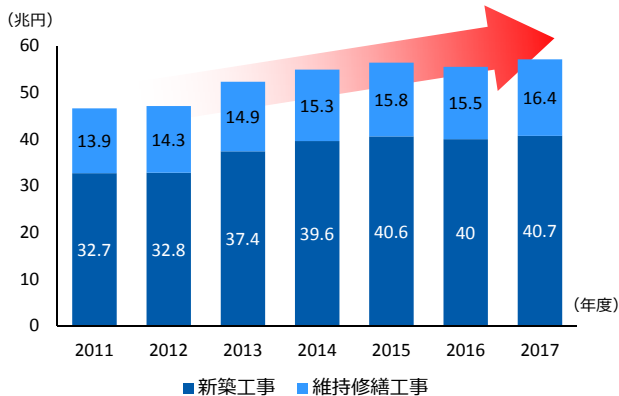
人件費や発送配達費の増加による
販管費の増加

5 今後の見通し

建設需要の推移

建築投資の増加

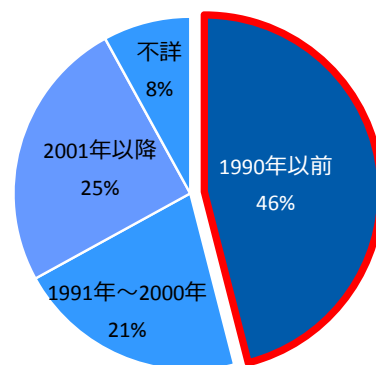
「インフラ長寿化計画」により、近年は、新設工事・維持修繕工事ともに増加傾向



出典：一般社団法人日本建築業連合会「建築業ハンドブック2018」、国土交通省「建設工事施工統計」

リフォーム需要が増加

築30年以上を迎える住宅が2,385万戸と、全体の半数に迫る。

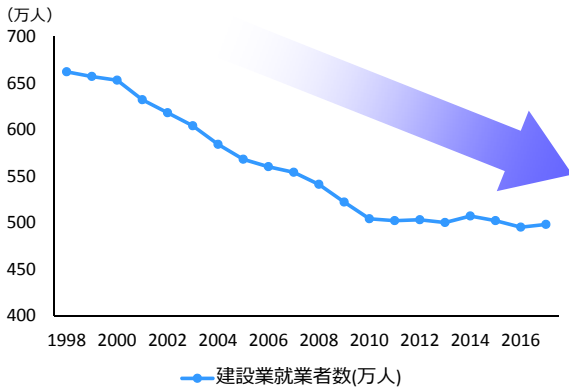


出典：総務省「平成25年住宅・土地統計調査」

インフラ整備やリフォーム・改修など建設需要は堅調！

就業者不足

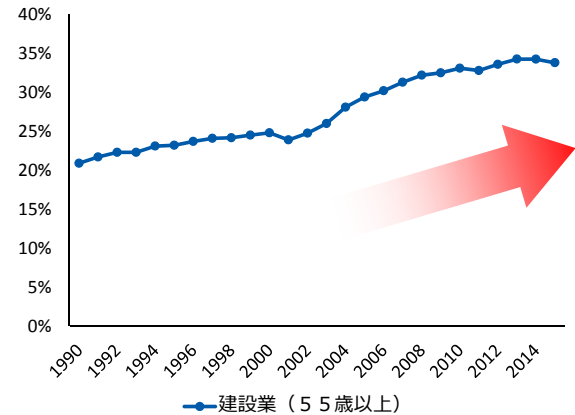
建設投資は増加傾向の一方、建設業就業者数は年々減少



出典：総務省「労働力調査」、厚生労働省「建設労働関係統計資料」

就業者の高齢化

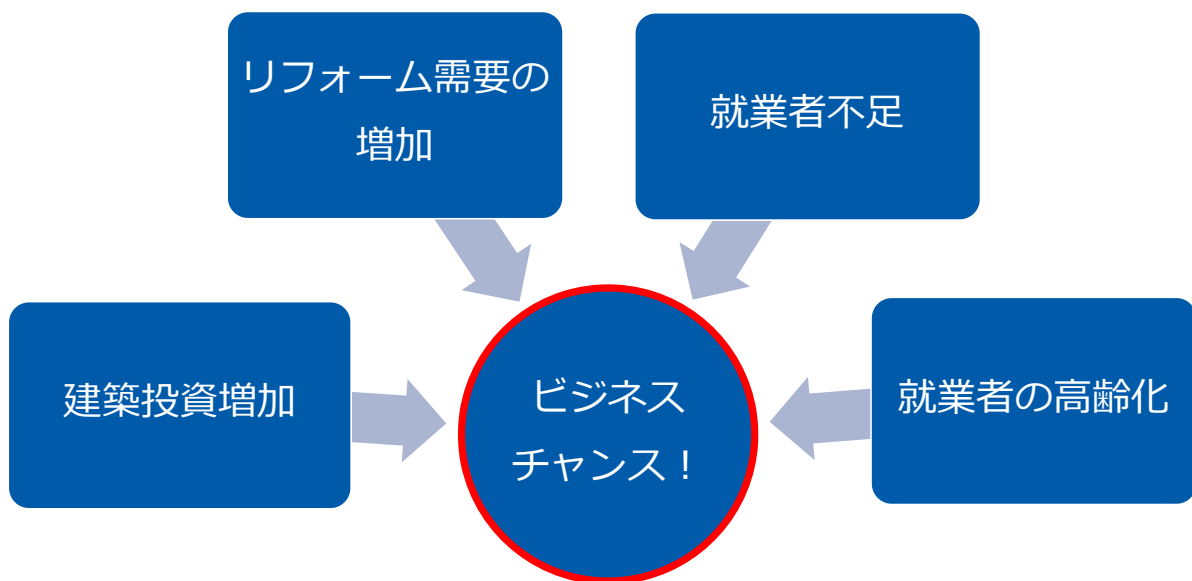
55歳以上の就業者の割合が3分の1を占める



出典：「建設業ハンドブック 2018」

工事現場では一層の施工効率向上、省力化が求められる！

事業環境による需要拡大について



| (単位：百万円) | 2019年 3月期 | 2020年 3月期予想 | 前期比 増減 |
|----------|--------------|----------------|-----------|
| 売上収益 | 17,512 | 17,000 | 512百万円減 |
| 営業利益 | 1,963 | 2,060 | 97百万円増 |
| 営業利益率 | 11.2% | 12.1% | 0.9pt改善 |
| 当期利益 | 1,331 | 1,400 | 69百万円増 |

2020年3月期 業績見通しに対する進捗状況

2020/03期第2四半期の進捗は順調に推移。

| (IFRS基準) (単位：百万円) | 2020年 3月期予想 | 2020/03期 第2四半期 | 進捗率 (%) |
|----------------------|----------------|-------------------|---------|
| 売上収益 | 17,000 | 9,370 | 55.1 |
| 営業利益 | 2,060 | 1,222 | 59.3 |
| 税引前利益 | 1,990 | 1,186 | 59.6 |
| 当期利益 | 1,440 | 814 | 56.5 |

6 株主還元

35

配当方針

配当政策

当社グループでは、株主の皆様に対する利益還元を経営上重要な課題の1つとして位置付けております。

配当性向目標

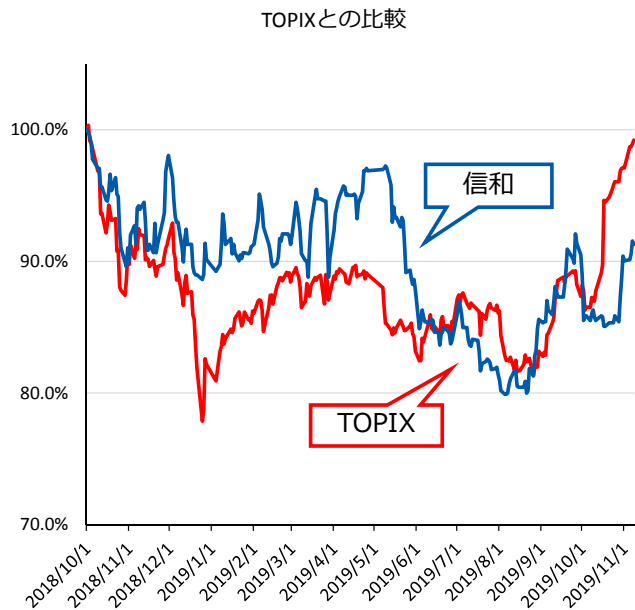
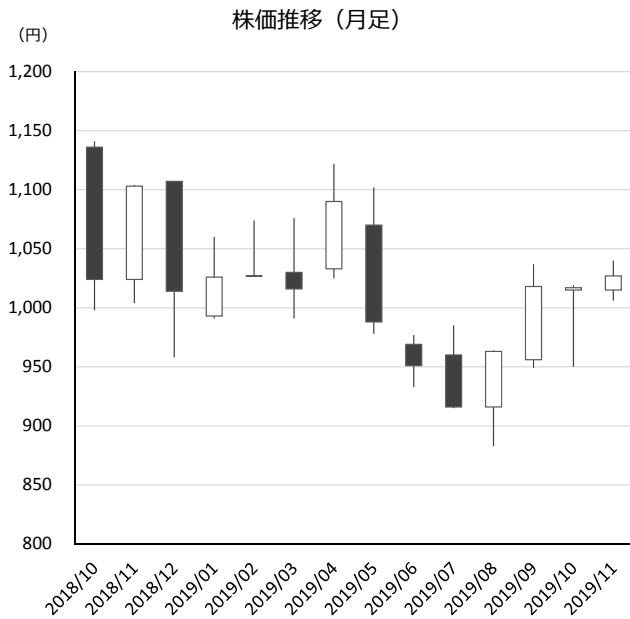
40%
以上



配当金 2020年3月期

44円 (予定)

株価の推移



数字で見る信和

| | | |
|---|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 証券コード 3447 | 創業 42 年 | 2019 年 3 月 東証1部上場 |
| 売上構成 (2019/3期) 仮設 8 : 物流 2 | 溶接ロボット (2019/5現在) 136 台 | 年間製造量 (2018/3期) 47,300 トン |
| 9 期連続増収 (2019/3期) | 営業利益率 (2019/3期) 11.2% | ROE (2019/3期) 10.7% |
| くさび緊結式足場 シェア No.1 | 1株あたり配当 (2019/3期) 44 円 | 配当性向 40% 以上 目標 |

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは本資料作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。

本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

《お問い合わせ先》

信和株式会社：岐阜県海津市平田町仏師川30-7
部署：経営企画部
担当：丹羽・青木
TEL：0584-66-4436
e-mail：ir@shinwa-jp.com